



東日本大震災より発生確率が高い 災害に立ち向かう ときのための 災害ボランティアシンポジウム

災害ボランティアシンポジウム

自然災害に負けないため私たちは何をすべきか ～地域の結束力～

◎ 開催日時：平成 23 年 1 月 29 日（土）

12:30（会場） 13:00（開会）～16:00（閉会）

◎ 会 場：柴田町楢木生涯学習センター（旧名：楢木文化センター）

◎ 定 員：300 名

◎ 参 加 費：無 料（事前の申込みが必要です）

※ お申込みは、お近くの社会福祉協議会もしくは宮城県社会福祉協議会まで

◎ お問合せ先：022-222-0010

宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センターまで

主催：宮城県社会福祉協議会

共催：名取市社会福祉協議会、岩沼市社会福祉協議会、角田市社会福祉協議会、白石市社会福祉協議会、
柴田町社会福祉協議会、亘理町社会福祉協議会、山元町社会福祉協議会、丸森町社会福祉協議会、
大河原町社会福祉協議会、村田町社会福祉協議会、蔵王町社会福祉協議会、川崎町社会福祉協議会、
七ヶ宿町社会福祉協議会

後援：宮城県、柴田町

【シンポジウムの内容】

○平成 21、22 年と 2 年連続で豪雨水害に見舞われた山口県の事例

平成 21 年 7 月、防府市では土石流が老人ホームに流れ込み尊い命を奪うなど、甚大な被害を受けました。被災者でありながら被災者支援に尽力した体験談をお話しいただきます。

シンポジスト： 山口県防府市 河村 博之 氏

○平成 19 年 9 月、記録的な豪雨水害に見舞われた秋田県の事例

台風 11 号が低気圧に変わってから記録的な豪雨水害に見舞われ、被災者宅の床下の泥かきや災害ボランティアのコーディネートと、2 足のわらじを履いて支援した体験談をお話しいただきます

シンポジスト： 秋田県北秋田市 松浦 篤 氏

○平成 21 年 10 月、局地的な水害に見舞われた登米市津山町の事例

台風 18 号による大雨で、登米市津山町横山地区が大畑沢渓流からの土石流で、下流の 10 戸が床上・床下浸水等の被害を受けました。被災者がとった行動や、復旧支援談をお話しいただきます。

シンポジスト： 宮城県登米市 佐々木 鎮雄 氏

○数多くの被災者支援の経験を活かして、災害シンポジウムで話される事例

から地域がどうあるべきかを提言

地震、水害、雪害に見舞われた様々な被災地域の復旧・復興支援に携わった経験から、自然災害を受ける前に地域住民が、何を、どのように、どう準備していくことなどが大切であるかをお話しいただきます。

助言者・総括： 岩手県立大学 准教授 山本 克彦 氏

災害時、災害ボランティアの力は絶対的に必要です。しかし、その力を被災住民は十分活かしきれているのか？また、災害ボランティアを受け入れる被災住民は顔の見える関係にあるのか？

災害ボランティアの力を活かすためにも、日頃からの住民同士の顔の見える関係づくりや、住民自身が地域力・福祉力を高め、非常時に備えることが重要であることを、このシンポジウムでお伝えします。